

「合浦公園」という名称はいつからか？(担当:工藤大輔)

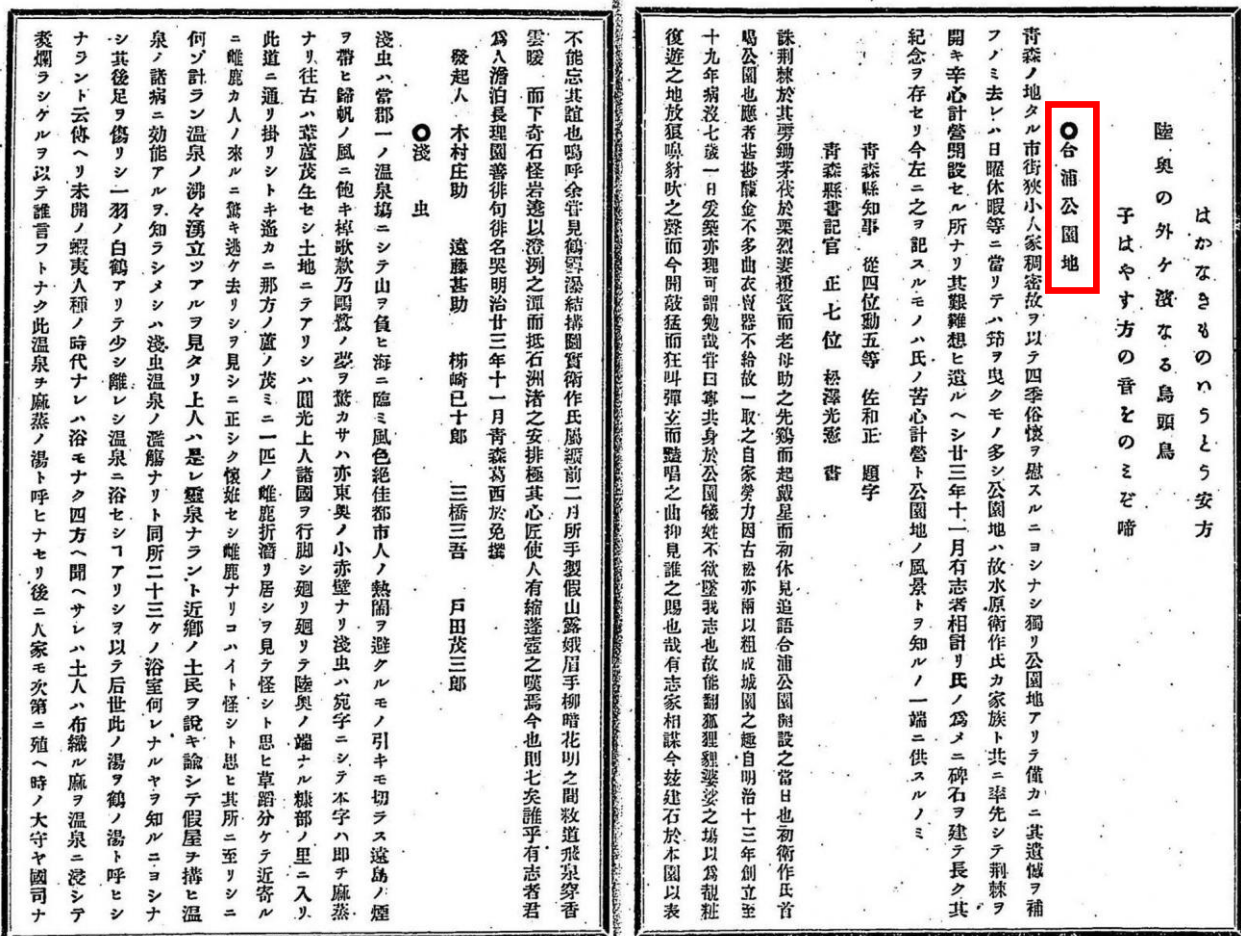
こんにちは！ 室長の工藤です。

『合浦公園』という名称はいつからか？という問いに対して、『新青森市史』通史編第3巻近代は「明治28年に、…(中略)…公園の名称を青森公園から合浦公園と改めた」と答えてくれます。その根拠は、明治28年(1895)12月21日付で青森町が県に対して提出した、公園地が青森町の管理となったことから、園内に掲示する「禁止事項(牛馬を園内に牽き入れてはいけないなど)」の許可を求める文書中の「今般合浦公園ト改称シ」に求めることができます。

一方、青森町が県に対して「公園改称之義上申」という文書でもって「自今以後歴史上ノ旧名ヲ存シ合浦公園ト改称致シ候条」としたのは翌明治29年3月14日のことです。

つまり、公園を管理する青森町では明治28年12月21日までに名称を青森公園から合浦公園と改め、それを公式に県に届けたのが翌年3月のことと理解できそうです。ですから、『合浦公園』という名称はいつからか？という問いの答えは、捉え方・考え方によってふたつの答えがあるのです。

ところで、明治26年の『合浦之珠 青森案内』という冊子に、合浦公園の創設者水原衛作の記念碑(明治23年建碑)の碑文をはじめ園内を紹介する記事が載っています。その記事の見出しは「合浦公園地」…青森町が公園管理を手掛けることになる前にすでに「合浦公園」という名称は使われていたということになります。



一戸岳逸 編『合浦ノ珠 青森案内』(1893年 国立国会図書館デジタルコレクション)

『東奥日報』の紙面を繰ってみると、明治22年5月17日付の紙面に浜町の開導小学校(4か寺が檀家の子弟のために明治21年に創設)の運動会が「合浦公園」で開催されたと伝えていますが、この合浦公園が現在の合浦公園に繋がるかは不明です。ただ、合浦公園と呼ばれた公園が青森町にあったとはいえるでしょう。

また、明治20年頃から園内で招魂祭が実施されていましたが、明治23年9月3日の招魂祭は「合浦公園」もしくは「造道村青森公園地内」で執行されたとあります。明らかに現在の合浦公園に通じる事例です。

もっとも、私が拾った明治22～23年の事例は「青森公園(地)」の事例が圧倒的に多いです。ところが、明治24年以降になるとむしろ「合浦公園」の事例の方が多くなります。もちろん、網羅的・意識的に事例を収集していた訳ではないので、この傾向はひっくり返る可能性はあります。しかし、明治28年以前に青森公園を「合浦公園」と新聞が報じる事例が少なからずあったという事実があったのは間違いありません。

つまり、合浦公園という名称は、青森町が公園を管理する以前から通称されていたものを、明治28～29年にかけて町が正式名称として採用したのです。

「『合浦公園』という名称はいつからか？」…意外と奥深い問いかけだったのです。



(圖 公 森 青)

「青森公園」とキャプションが記された絵はがき
(歴史資料室蔵)